資料 9

男女共同参画の視点と政府開発援助における 有効性及び効率性の確保に関する事例

(1) 家族計画における男女の参画を促した事例

国名/案件名 ジョルダン/家族計画・WIDプロジェクト
実施期間 第1フェーズ：平成9年～平成12年
第2フェーズ：平成12年～平成15年
援助形態 プロジェクト方式技術協力

ア プロジェクトの概要

本プロジェクトは、カラク県南ゴール地区での人口増加率を減少させるために、家族計画の実施を行うことを目的として、人口、健康及び社会経済状況に関する情報の収集及び活用、健康等に関する住民意識の向上、女性の経済活動への参加促進などへの支援を行うもの。

イ プロジェクトにおける影響

地域開発推進員に積極的に女性を採用したことにより、住民女性に保健活動及び社会活動に参加する機会を提供し、知識・技術の取得及び健康等への意識向上が特に図られた。また、イスラム社会を考慮し、影響力をもつ宗教指導者を研修講師として招くことにより男性の家族計画に対する理解を深めることができ、住民男女の意識が向上した。

(2) 植林における女性の重労働が軽減した事例

国名/案件名 インド/パンジャブ州植林開発事業(II)
借款契約調印 平成15年
援助形態 有償資金協力

ア 事業の概要

本事業は、植林を行うことで、林産物の需給ギャップの解消、活発な住民参加を通じた州内の丘陵部における環境荒廃の改善、並びに森林のストック及び生産性の向上を図ることを目的とし、同州全域を対象に地域住民が参加する植林(20,900ヘクタール)及び本事業第1期借款(平成9年)にて植林した苗木の保護・育成を実施するもの。

イ プロジェクトにおける影響

植林及び森林の管理を行う村落森林委員会では、ボードメンバーに女性が参加すること及び女性のサブコミティをつくることで義務付けられていたことにより、社会的地位が低い女性のプロジェクトに対する発言の機会及び意思決定プロセスへの参加が確保された。この結果、女性に偏りがちなたきぎや飼い葉の採集等の労働がいかに重労働であるかという知見が得られ、重労働が軽減されている。

(3) 農業生産における生産販売に影響を及ぼした事例

国名/案件名 スリランカ/ガンパハ農業普及改善計画
実施期間 平成6年～平成11年
援助形態 プロジェクト方式技術協力

ア プロジェクトの概要

本プロジェクトは、ガンパハ県地域における農業生産の多様化による農業生産性の向上及び農家収入の増大を目的として、ココナッツ畑における作物生産体系及び普及方法の改善、普及員に対する研修等を行うもの。

イ プロジェクトにおける影響

プロジェクト活動に対する女性の参加の促進に対する配慮、女性農民のニーズ調査等が実施されなかったことなどから女性農民が家事のため出席しにくい時間帯に研修が実施されることがあった。また、本プロジェクトにより主に男性農民によるグループが組織され、新たに栽培技術の導入、既存の栽培技術の改善等が行われて収入が拡大した。しかし、生産高が増加しても流通に連動していないために、販売が限定的となり売上げに限界が生じた。流通機構に関心を持ち居住地域周辺の情報に明るいのは主に女性であることから、女性が参画し、流通計画を策定することが効果的であった。

(4) プロジェクト運営に影響を及ぼした事例

国名/案件名 パラグアイ/プラスガライ入植地開発振興計画
実施期間 昭和62年～平成6年
援助形態 協力隊チーム派遣

ア プロジェクトの概要

本プロジェクトは、プラスガライ入植地における小農の所得を増加させることを目的として、野菜・果樹中心の換金作物に関する技術移転、栽培技術の効率的な普及、生産販売促進等への支援を青年海外協力隊員の派遣により行うもの。

イ プロジェクトにおける影響

本プロジェクトによる効果として、研修や技術指導に参加して、技術及び知識の習得により、小規模農家男女の社会的地位の向上及び発言力の増加に寄与した。一方で、当初計画の中で、女性は受益者として認知されていなかったため、女性に対する活動は散発的で、女性の受益者は活動に参加できた一部のグループに限られた。プロジェクトの効率性を高めるためには、女性も含め受益者がプロジェクト運営に関与すべきことが指摘されている。